

皆さんは、「ごみ」について深く考えたことがありますか。ゴミを捨てる時、まだ使えるのに捨てていないか、他に使い道はないのか考えたことはありますか。

この本は、芸人でゴミ清掃員の滝沢秀一さんが、ゴミについて楽しく、分かりやすく紹介している本です。清掃員を始めたころの話や「なんで!」と思うようなゴミの話、ゴミの未来の話など、思わず「へー」と言ってしまうような話がたくさん書かれています。文章で書かれているだけではなく、4コマ漫画やクイズ、ゴミ清掃車についての説明などを入れ、小学生にもわかりやすい工夫がされています。

『すごいゴミのはなし』

滝沢秀一/文 スケラッコ・萩原まお/イラスト

ナルティス：新上ヒロシ/デザイン Gakken

私は、この本の中の「ゴミとは人の心だ」という言葉が、自分を振り返るきっかけになりました。確かに、自分が「これは、ゴミだ」と思えば「ゴミ」になるし、思わなければ捨てずに置いておくから、最初から「ゴミ」として生まれてきたものはこの世に1つもなく、自分の心次第で「ゴミ」か「そうではない」かが決まってしまうのです。本が破れてしまったのなら貼りなおせばいいし、食べ物を下に落としたなら洗えば食べられるものもあります。この言葉を知ってから、何かを捨てようと思ったときに、「本当にこれはいらないのか」よく考えてから捨てるように考えるようになりました。この本をきっかけに自分のゴミについての考えが変わって、もっと

自分の意識を変える

ゴミについて知りゴミを減らす努力をしていきたいと思うようになりました。

私は、この本をもっと多くの人に読んでもらって、皆さんがゴミについて関心を持ち、よく考えてから捨てるようになり、少しでもごみが減ればいいのと思っています。そして、私自身もゴミについて考え続けていきたいです。



三郷市子ども司書 14期生

日栄 葵さん

みなさんは、今、苦手なことはありますか。きっと、ある人が多いのではないかと思います。では、その苦手を克服するにはどうすればいいのでしょうか。

この本は、無愛想で誰とも仲良くなれない転校生のリサと、真面目で意気地なしのミヒロが苦手を克服しながら仲良くなっていく、成長と友情のストーリーです。

ある日ミヒロが、プールサイドで立っている転校生のリサに、泳いでいる間だけ誰も来ないように見張ってほしいと頼まれました。泳ぎおわりプールサイドに上がったリサを見て、ミヒロはリサの秘密を知ってしまうのです。

『わたしの苦手なあの子』

朝比奈蓉子/作 酒井以/絵 ポプラ社

私が心に残った場面は、お店のお菓子売り場で、リサのことをいじめた子たちにミヒロが勇気を出して立ち向かった場面です。この場面を見て「傷つけるのも人だが、なおしてくれるのも人だからね」というおじいさんがリサに言った言葉を思い出して、心が温まりました。容姿へのからかいで心が傷ついたリサに、その心を直せるのも人だと言ったところが、「あなたを認めてくれる人が必ずいる」とも言っているようで、すごく心に響きました。立ち向かったミヒロも、この状況から逃げなかったリサもとても成長しているなと感動したし、私もこんな風に勇気のある自分に成長したいなとも

「傷つけるのも人だが、なおしてくれるのも人だからね」

苦手を克服するために

思いました。最後には、ミヒロの「リサの心の傷を治したい」という気持ちがりサに届いて、二人は大親友になるだろうと思いきなり嬉しくなりました。

この本のように自分の苦手を克服することは簡単ではありません。けれど、ぜひ、この本を読んで、自分の苦手克服へ勇気をもって踏み出してください。



三郷市子ども司書 14期生

須田 愛奈さん

きら読 DAYORI

No.171 令和7年11月

きらり 三郷市読書だより

子ども司書の活動が広がっています！

「読書の秋」ということで、子ども司書のおはなし会を様々な場所で行いました。その他にも、読書イベントの手伝いをするなど、本を通じて多世代の方と交流することができました。



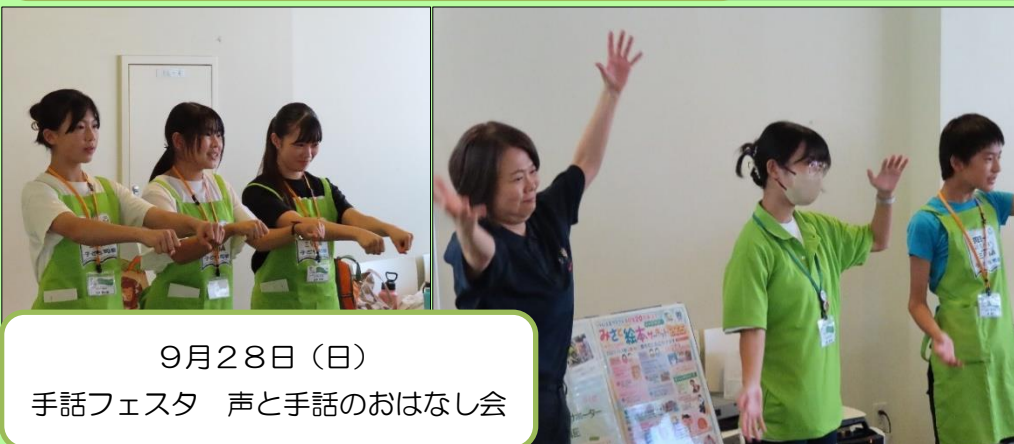
9月23日（火・祝）
ピアラシティ交流センターフェスタ・ブックトレード



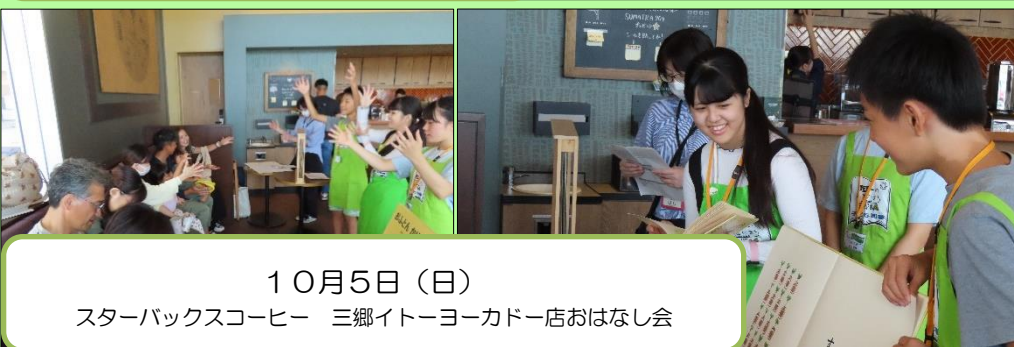
9月23日（火・祝）
マイネッツ三郷店 おはなし会



9月15日（月・祝）
彦沢老人福祉センター おはなし会



9月28日（日）
手話フェスタ 声と手話のおはなし会



10月5日（日）
スターバックスコーヒー 三郷イトーヨーカドー店おはなし会

らんどせるブックよもよも 教育長贈呈式

三郷市内の小学1年生に本をプレゼントする「らんどせるブックよもよも」。子ども達が選んだ本を、市内の各小学校へ図書館司書が届けました。三郷市立高州東小学校では、大塚教育長が訪問し、贈呈式が開催されました。



三郷市立高州東小学校

読書ボランティア紹介！

三郷おはなし会



「三郷おはなし会」は、語りの練習会を不定期でさつき平のライブラリーで開催しているボランティア団体です。練習会では数人が語りを披露した後、講評をし、本番の聞き手である子どもをよりお話の世界へ引き込む工夫をみなさんで考えて練習されていました。

11月29日（土）に講演会・座談会を行いますので、ぜひ、お申し込みください!!

本が好きなあなたからできること

まちづくり、芸術分野を中心に表現活動をしているシェア本棚「夢中飛行・夢中漂流」の館長の直井薫子氏に本の魅力、本と人を結ぶ場所の作り方などをお話いただきます。また、サブゲストにシェア本棚のオーナーを招いて座談会も行います。

日時：R7年11月29日（土）10時～12時
受付開始：9時30分～
会場：三郷中央におどりプラザ3階会議室
講師：直井 薫子 氏
合同会社CHICACU 代表社員
CHICACU Design Office & Bookstore 代表
デザイナー／アーティスト

「本と夢中飛行」「本と夢中漂流」館長
1989年埼玉県生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業後、デザイン事務所の勤務を経て、2019年にCHICACU設立。自宅兼事務所の住み込み新築を生かし、まちづくり・芸術・建築分野を中心に、企画・編集・デザイン・表現活動を行う。

座談会 パネリスト一覧 夢中飛行の出版屋号
・マサ企画室（読書を開催）
・小さな実験本棚（大学のゼミで活用）
・Blue Bibliothek（POP制作イベントを開催）
・Aya（ビブリオバトルを開催）
・Harvest Wave（医療従事者による対話の場）



対象：15歳以上

定員：60名（申し込み順）

申込：10月27日（月）10時から
11月21日（金）17時まで
インターネットまたは日本一の読書のまち推進課まで電話
（048-930-7818）

主催：三郷市教育委員会
日本一の読書のまち推進課



編集・発行：三郷市教育委員会生涯学習部
日本一の読書のまち推進課 ☎ 048(930)7818
〒341-8501 三郷市花和田648番地1 FAX048(953)1160